

第1日目 9月21日 (土) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈気候・水文〉	
13:00	101 長谷川直子 (お茶の水女子大) ほか: 諏訪湖・十三湖の結氷解氷記録と冬春季の気候変動 (その1) — 諏訪湖結氷記録575年間の再検証	
13:20	102 三上岳彦 (首都大・名誉) ほか: 諏訪湖・十三湖の結氷解氷記録と冬春季の気候変動 (その2) — 十三湖の結氷解氷記録 (1705年~1860年)	〈災害〉
13:40	103 平野淳平 (帝京大) ほか: 諏訪湖・十三湖の結氷解氷記録と冬春季の気候変動 (その3) — 十三湖の解氷記録による東京の冬春季気温復元の試み	202 岩船昌起 (鹿児島大): 2019年7月鹿児島豪雨災害の検証 (速報) — 「がけ崩れ」の発生と地域住民の避難行動
14:00	104 渡来 靖 (立正大) ほか: 2018年11月2~3日に観測された長野市裾花川谷ロケットの特徴	203 常田公和 (元日本地図センター): 2018年西日本豪雨における倉敷市真備町の災害の発生要因の考察
14:20	105 遠藤伸彦*・西森基貴 (農研機構・農業環境変動研究センター): 関東地方南部における大気常時監視局の風計測環境について	204 黒木貴一 (福岡教育大) ほか: 2018年7月豪雨による被害と小田川の地形量特性
14:40	106 中川清隆 (立正大) ほか: 我が国における第2圏界面高度と出現率の年変化の地域差	205 中山大地 (首都大) ほか: ロシア・トムスク市における洪水避難シミュレーション
15:00	107 中島 虹 (東京都環境科学研) ほか: 東京都心域の冬季晴天弱風夜間における温位鉛直分布の経年変化	206 Khromykh, V.*・Khromykh, O. (Tomsk State Univ.): The system for flood monitoring on the Ob River (within the Tomsk Region)
15:20	108 大津拓也* (国際航業)・澤田康徳 (東京学芸大): 初等から中等教育段階における降水量分布情報の読図初見時の特性—段彩図および等値線図の差異	207 中埜貴元 (国土地理院) ほか: 夜間における浸水域把握手法の検討
15:40	109 澤田康徳 (東京学芸大): 中国における大学生の気候認識—日本・中国に対する関心や見方および日本人留学生との差異	208 川村 壮 (北海道立総合研究機構北方建築総合研) ほか: 港湾都市の津波浸水想定地域における施設立地の変化
16:00	110 小寺浩二 (法政大) ほか: 全国規模の観測記録から見た日本の河川の水質変化	209 柳澤英明 (東北学院大) ほか: 3Dマングローブ模型を用いた津波減勢効果の検討
16:20	111 猪狩彬寛 (法政大・院) ほか: 草津白根山周辺地域の水環境に関する研究 (5)	210 原 雄一 (京都先端科学大): 道迷いによる山岳遭難の未然防止の実践的方法
16:40	112 矢巻 剛 (法政大・院) ほか: 長崎県島嶼の水環境特性と形成要因 (4)	211 黄 璐 (筑波大・院): 中国四川省の農村地域における震災後農村住宅構造類型の変容—2013年芦山地震を事例として
17:00		212 研川英征 (国土地理院) ほか: ICTの活用による災害初動における情報収集の課題について

第1日目 9月21日 (土) 午後

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
	〈文化・社会〉	
	401 包 慧穎 (筑波大・院) : 中国におけるモンゴル族馬頭琴の伝承及び発展の様相—内モンゴル自治区通遼市の馬頭琴文化産業を事例に	13:00
	402 大島規江 (茨城大) : 抑圧のなかの芸術—チェコにおけるアニメーション創作	13:20
	403 松尾卓磨 (大阪市立大・学振DC) : ロンドンにおけるジェントリフィケーション研究の系譜	13:40
〈地形・植生〉	404 須崎成二 (首都大・院) : 新宿二丁目におけるレズビアンとゲイの共存をめぐる諸問題	14:00
304 杉山博崇 (新潟大・院) ほか : 白馬大雪渓周辺における近年の岩盤斜面の地形変化	405 熊谷圭知 (お茶の水女子大) : 場所論からの〈男性性と身体〉再考—バブアニューギニア, ブラックウォーターの痕文身儀礼の参与観察から	14:20
305 有江賢志朗 (新潟大・院) ほか : 飛騨山脈北部, 唐松沢雪渓の氷厚と流動	406 畔藤和希 (明治大・院) : 英語圏の研究にみる「ケアの地理学」の射程	14:40
306 小疇 尚 (明治大・名誉) ほか : 穂高岳, 岳沢のモレーン	〈地図・GIS〉	
307 苺谷愛彦* (専修大)・小塚朋子 (日さく) : 山梨県北杜市藪ノ湯における大武川沿岸の大規模地すべりと河道閉塞	407 野上道男 (東京都立大・名誉) : 伊能図の作図法	15:00
308 佐藤俊文 (駒澤大・院) : 房総半島中西部湊川下流域の地形発達	408 谷 謙二 (埼玉大) : 「今昔マップ旧版地形図配信・閲覧サービス」における収録地域および機能の拡張	15:20
309 阿部朋弥 (産業技術総合研) ほか : 西三河平野南西部における高浜断層沿いの地下地質	409 根元裕樹* (目白大学短期大学部)・夏目宗幸 (京都大・院) : Leafletを用いたWebGIS作成教材および作成システムの開発	15:40
310 西脇圭一郎 (駒澤大・院) : 東日本における天井川の分布と平面形態の特徴	410 谷本 涼 (京都大・学振DC) : 現代の生活環境におけるアクセシビリティ研究の成果と課題	16:00
311 小川滋之 (静岡大) : アジアにおける伝統野菜スイゼンジナの分布と形態の特徴	411 小野塚仁海* (北海道大・院)・橋本雄一 (北海道大) : 北海道北部における買い物困難圏と移動販売車の果たす役割	16:20
312 江口誠一 (日本大) : タイ国内における熱帯季節林下の植物化石群からみた野火と古植生	412 田中雅大 (学振PD・名古屋大) : デジタルなものに関する地理学的議論の動向	16:40
		17:00

第1日目 9月21日 (土) 午後

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	〈経済・産業〉	
13:00	501 乾 睦子 (国士館大) : 茨城県稲田・真壁地域における花崗岩石材産業の成立	
13:20	502 大竹あすか (お茶の水女子大・院) : 中核市に立地する書店の経営方針—岩手県盛岡市を事例に	
13:40	503 平山 弘 (阪南大) : 岩手県一関市 世嬉の一酒造によるクラフトビール市場への挑戦	
14:00	504 石原 肇 (大阪産業大) : 東大阪市内3地域におけるバルイベントの運営方法の地域的特性	
14:20	505 後藤 寛 (横浜市立大) : 大規模小売店舗の立地とライフステージ別ファッションブランドショップの集積状況にみる出店戦略と対象顧客層の居住傾向の地域差	
14:40	506 上村博昭 (尚美学園大) : 東京都区部における都道府県アンテナショップの変容	
	〈人口〉	
15:00	507 小池司朗*・清水昌人 (社会保障・人口問題研) : 東京圏一極集中は継続するか?—「第8回人口移動調査」を用いた出生地分布からの検証	
15:20	508 清水昌人 (社会保障・人口問題研) ほか : 通婚圏の変化と人口移動	
15:40	509 石川慶一郎 (名古屋大・学振DC) : バブル経済崩壊後の東京都心部における居住分化—国勢調査・調査票情報により作成した調査区別集計の分析	
16:00	510 中村昭史* (芝浦工業大・客員研究員)・栗島英明 (芝浦工業大) : 離島における社会関係資本の形成・維持プロセスの検討—種子島西之表市における調査から	
	〈地域計画・地域政策〉	
16:20	511 内海 巖* (上越市創造行政研)・橋本暁子 (上越教育大) : 地域政策に資する地域資源情報の編集方法に関する一考察—新潟・長野県境地域を事例に	
16:40	512 張 紅 (筑波大・院) : 歴史的街並み景観にみられる地域アイデンティティの創出メカニズム	
17:00		

第2日目 9月22日（日） 午前

開始時刻	第 1 会 場	第 2 会 場
	〈セッション：地理教育〉	〈地理教育・災害〉
9:00	121 志村 喬（上越教育大）：1970年代英国における中等地理カリキュラムGYSL開発の影響—「新しい地理教育」カリキュラム Geography for the Young School Leaver	221 山内啓之（東京大）ほか：3Dプリントによる地形模型の教育的活用
9:20	122 阪上弘彬（兵庫教育大）：ドイツの初等・中等地理教育におけるコンピテンシーの特徴	222 村山良之（山形大）ほか：防災のための地形ミニマム・エッセンシャルズを求めて—石巻市教員研修プログラムの開発
9:40	123 湯田ミノリ（福岡女子大）：フィンランドの高等学校の地理教育とSTEM	223 森 康平*（兵庫教育大連合大学院・院）・山縣耕太郎（上越教育大）：児童の知覚環境の発達を促す防災教育の構築
10:00	124 松尾朱夏（大分大・院）：大分県公立中学校社会科における地域学習の現状と課題—現職教員を対象としたアンケート調査をもとに	224 山内洋美（宮城県塩釜高）：ミステリー教材『黒い津波とリアス海岸』開発と実践—生徒が自ら地域を包括的にとらえられる教材とは
10:20	125 河本大地（奈良教育大）：「ふるさと学習（ふるさと教育）」は「地理教育」なのか？—カリキュラムマネジメント等の視点から	〈セッション：新潟と周辺地域の災害〉 225 奈良間千之（新潟大）：新潟市の地形と災害の関係
10:40	126 元木理寿（常磐大）ほか：ZOOMを用いたフィールドワークの試みとその可能性	226 山縣耕太郎（上越教育大）：高田城下町の形成と近世の水害
11:00	127 栗栖悠貴（国土地理院）：地理教育の道具箱による地理教育支援	227 生沼洋祐（環境地質）ほか：新潟県羽越豪雨（1967.8.28）による土砂移動と災害伝承碑の実態
11:20	128 河野光浩（経済産業省）：地理教育改革序説—伝統的地理教員と地理実務者との接点	228 澤 祥（鶴岡高専）：2019年山形県沖の地震で鶴岡駅前に発生した液状化現象（速報）
11:40		
12:00	昼 休 み	

第2日目 9月22日(日) 午前

第 3 会 場	第 4 会 場	開始時刻
<p><農業・農村></p> <p>321 土田慎一郎(北海道大・院)：長野県東御市におけるワイン産業の展開—小規模ワイナリーに着目して</p>		9:00
<p>322 岡田 登(鹿児島県立短大)：野菜生産法人の設立とその存立形態—埼玉県深谷市を事例に</p>	<p><歴史></p> <p>422 轟 博志(立命館アジア太平洋大)：朝鮮王朝時代後期の「水経」体系復原について</p>	9:20
<p>323 高柳長直(東京農業大)：褐毛系牛肉のフードシステム—高知県の「土佐あかうし」の販売戦略</p>	<p>423 飯沼健悟(岐阜県土地家屋調査士会)：明治24年の濃尾地震と旧岐阜町の道路拡幅</p>	9:40
<p>324 高橋真太郎(北海道大・院)：北海道道東地方におけるグリーンツーリズムの展開</p>	<p>424 古関大樹(京都女子大・非常勤)：兵庫県の地籍編製地籍地図—全国に先駆けて事業が展開した兵庫県</p>	10:00
<p>325 井口 梓(愛媛大)：今治市島嶼部における地域おこし協力隊の展開</p>	<p>425 石川和樹(首都大・学振DC)：1930年東京市電のマルチエージェント・シミュレーション</p>	10:20
<p>326 深瀬浩三*(鹿児島大)・末留翔貴(日置市役所・非常勤)：鹿児島県さつま町における竹林の管理・利用の維持</p>	<p><都市></p> <p>426 杉本興運*・矢ヶ崎太洋(首都大)：都市観光地におけるインバウンド観光の進展と地域変容—東京都上野を事例に</p>	10:40
<p>327 児玉恵理(和歌山高専)：和歌山県美浜町における煙樹ヶ浜松林の保全</p>	<p>427 櫛引素夫*(青森大)・平原 匡(北信越地域資源研)：新幹線駅エリアの「メディア化」が持つ地理学的な可能性と課題—新青森駅と上越妙高駅の事例から</p>	11:00
<p>328 荒井良雄(帝京大)：有線放送電話網によるADSLサービス—ある地域メディアの発達と変容</p>	<p>428 井内麻友美(日本大・院)：都市規模ごとにみた公営プラネタリウム施設の目的と活用</p>	11:20
		11:40
		12:00
<p>昼 休 み</p>		

第2日目 9月22日（日） 午前

開始時刻	第 5 会 場	第 6 会 場
	<p>〈観光〉</p> <p>9:00 521 荒 瑞穂*（東京大・院）・横山ゆりか（東京大）：アニメ聖地巡礼の分類と観光可能性—近年の新たなアニメ聖地巡礼に着目して</p> <p>9:20 522 高橋環太郎（秀明大）：長崎県における島嶼地域の観光特性と立地が文化資源に及ぼす影響</p> <p>9:40 523 池田千恵子（大阪成蹊大）：観光産業の拡大による地域への影響—石川県金沢市を事例として</p> <p>10:00 524 松井 歩（名古屋大・学振DC）：石川県能登島におけるドルフィン・ツーリズムの展開</p> <p>10:20 525 深見 聡（長崎大）：「奄美・沖縄」の世界自然遺産登録と持続可能な観光への提言</p> <p>10:40 526 町田知未（日本大・院）：アンモナイト化石と地域博物館を活用した地域づくり—北海道中川町における地域資源活用の実態調査から</p> <p>〈地理方法論〉</p> <p>11:00 527 目代邦康（東北学院大）：地学的自然遺産保護のためのジオサイトデータベース構築の実態と課題</p> <p>11:20 528 山本隆太*（静岡大）・中村洋介（公文国際学園中・高）：自然地理学と地理学習—システム論を介した連携に向けて</p> <p>11:40</p>	
12:00	<p>昼 休 み</p>	

第2日目 9月22日 (日) 午後

開始時刻	第 1 会 場	第 3 会 場
13:00	<p align="center">シンポジウムS3</p> <p align="center">ジェンダーの視点から何が 見えるようになったか —日本の地理学研究における成果と可能性—</p> <p>オーガナイザー：吉田容子（奈良女子大）・影山穂波（椋山女学園大）・倉光ミナ子（お茶の水女子大）</p> <p align="center">開始時刻 13:00</p> <p>S301 13:00-13:10 吉田容子（奈良女子大）ほか：ジェンダーの視点から何が見えるようになったか—日本の地理学研究における成果と可能性（趣旨説明）</p> <p>S302 13:10-13:30 影山穂波（椋山女学園大）：地理学におけるジェンダー視点の課題と展望</p> <p>S303 13:30-13:50 久木元美琴（大分大）：福祉サービスの地理学的研究におけるジェンダーの視点—保育・子育て支援の地理学の到達点と課題</p> <p>S304 13:50-14:10 湯澤規子（法政大）：在来・近代産業を支える「労働」と「生活」の関係と論理—「生きること」を論じるジェンダー地理学</p> <p>S305 14:10-14:30 原口 剛（神戸大）：マルクス主義とフェミニズムの接点—寄せ場・野宿の運動からの視角</p> <p>S306 14:30-14:50 須崎成二（首都大・院）：空間／場所と性的少数者の視点</p> <p>〔休憩〕 14:50-15:00</p> <p>〔コメント〕 15:00-15:20 熊谷圭知（お茶の水女子大）・吉田容子（奈良女子大）</p> <p>〔総合討論〕 15:20-16:00 〔座長〕 関村オリエ（群馬県立女子大）</p> <p align="center">終了時刻 16:00</p>	<p align="center">第36回地理教育公開講座</p> <p align="center">新・小中高地理教育における 課題と展望 —身近な地域調査—</p> <p align="center">日本地理学会地理教育公開講座委員会 共催：日本地理教育学会</p> <p align="center">開始時刻 13:00</p> <p>〔趣旨説明〕 13:00-13:10 田部俊充（日本女子大）</p> <p>〔司会〕 田部俊充（日本女子大） 13:10-13:40 中山正則（越谷市立西方小）：小学校における身近な地域学習の現状の課題と今後の展望</p> <p>13:40-14:10 大谷誠一（平塚市立金目中）：中学校における身近な地域学習の現状の課題と今後の展望</p> <p>14:10-14:40 泉 貴久（専修大学松戸高）：高校「地理総合」における生活圏学習の方向性と授業実践上の課題</p> <p>〔コメント〕 14:50-15:00 阿部信也（長岡市立東北中） 15:00-15:10 深瀬浩三（鹿児島大）</p> <p>〔質疑〕 15:10-15:40</p> <p>〔総括〕 15:40-15:50 志村 喬（上越教育大）：新・小中高における身近な地域学習の展望と課題</p> <p align="center">終了時刻 16:00</p> <p align="center">地理総合公開講習会</p> <p align="center">『国際理解と国際協力』の 指導を考える</p> <p align="center">開始時刻 16:00</p> <p align="center">終了時刻 17:30</p>
17:00		

第2日目 9月22日(日) 午後

第5会場	第6会場	開始時刻
<p>シンポジウム1</p> <p>ジオパークは観光地理学の 研究対象となるのか？ —研究と地域の狭間でなすべきこと—</p> <p>日本地理学会ジオパーク対応委員会 観光地域研究グループ オーガナイザー：有馬貴之(横浜市立大)・河本大地(奈良教育大)・目代邦康(東北学院大)</p> <p>開始時間 13:00</p> <p>S101 13:00-13:05 有馬貴之(横浜市立大)ほか：ジオパークと観光地理学—研究と地域</p> <p>[座長] 河本大地(奈良教育大)</p> <p>S102 13:05-13:25 磯野 巧(三重大)：日本におけるジオパーク・ジオツーリズムの研究動向と観光地理学的研究の可能性</p> <p>S103 13:25-13:45 平井純子(駿河台大)：エコツーリズムと観光地理学</p> <p>S104 13:40-14:00 フंक カロリン(広島大)：観光地理学の研究視点—ジオパークと景観との関連</p> <p>[座長] 目代邦康(東北学院大)</p> <p>S105 14:00-14:20 岸本誠司(鳥海山・飛島ジオパーク)：ジオツーリズムの多面的役割—鳥海山・飛島ジオパークを例として</p> <p>14:20-14:40(コメンテーター) 佐藤雅一(苗場山麓ジオパーク)：苗場山麓ジオパークの展開と課題</p> <p>[休 憩]</p> <p>[コメント]</p> <p>14:55-15:05 呉羽正昭(筑波大) 15:05-15:15 深見 聡(長崎大)</p> <p>[総合討論] 15:15-16:15</p> <p>終了時刻 16:15</p>	<p>シンポジウム2</p> <p>新潟県中越地震から15年 —被災地の復興支援活動と今後の課題—</p> <p>新潟大学災害・復興科学研究所 日本地理学会理事会 オーガナイザー：福留邦洋(岩手大)・西井稜子・河島克久・卜部厚志(新潟大)</p> <p>開始時間 12:50</p> <p>[司会] 福留邦洋(岩手大)・西井稜子(新潟大)</p> <p>12:50-13:00 福留邦洋(岩手大)：開催挨拶(趣旨説明)</p> <p>S201 13:00-13:20 須貝幸子(新潟県中越地震復興基金)：新潟県中越地震復興基金が果たした役割</p> <p>S202 13:20-13:40 坂井宏子(にいがたGIS協議会)：災害時における GIS の活用と課題</p> <p>S203 13:40-14:00 吉川夏樹(新潟大)：新たな手法による棚田の復旧</p> <p>S204 14:00-14:20 坂田寧代(新潟大)：中越地域における養鯉池の歴史の変遷</p> <p>S205 14:20-14:40 福留邦洋(岩手大)：住宅再建による地域コミュニティへの影響</p> <p>S206 14:40-15:00 伊藤春陽(長岡市)：中山間地域における人的支援の変容—地域復興支援員の役割</p> <p>S207 15:00-15:20 中村 元(新潟大)：歴史資料にみる1961年長岡地震の災害状況</p> <p>S208 15:20-15:40 筑波匡介(福島県立博物館)：新潟県中越地震における震災関連資料の収集・保全と展示について</p> <p>S209 15:40-16:00 諸橋和行(中越防災安全推進機構)：災害から生き抜く力を育む新潟県防災教育の展開</p> <p>[総合討論] 16:00-16:45 [コメンテーター] 伊藤忠雄(新潟大・名誉)</p> <p>終了時刻 16:45</p>	<p>13:00</p> <p>17:00</p>

第1・2日目 9月21・22日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月21日（土）13時～18時までと9月22日（日）9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、9月21日（土）17時～18時もしくは9月22日（日）11時40分～12時10分の間に設定されていますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | |
|--|--|
| P001 杉戸信彦（法政大）ほか：熱田台地北方、矢田川左岸の沖積低地に発達する旧河道の形成時期 | P013 飯田義彦（金沢大）ほか：石川県白山麓におけるトチノキ巨木の分布と生育地の景観タイプ |
| P002 栗山知士（秋田地理学会）：能代沖積平野、河戸川付近の地形改変 | P014 中野智子*（中央大）・Munkhtsetseg, E.（モンゴル国立大）：モンゴル国における気候変動とその植生への影響評価 |
| P003 石原武志（産業技術総合研）ほか：郡山盆地における浅部地下の地形と地質構造 | P015 木口雅司（東京大）ほか：スリランカにおける100年データを用いた降水特性の変化 |
| P004 澤口晋一（新潟国際情報大）：新潟砂丘西端域の地形に関する新知見 | P016 立入 郁（海洋研究開発機構）：気候変動によるアジア・アフリカ乾燥地帯への影響—中位シナリオについて |
| P005 井口 豊（生物科学研）：諏訪盆地西部における御岳第一テフラの高度分布 | P017 大山 駿*（日本大・院）・森島 済（日本大）：天気図とCFSRデータセットの比較による前線帯の客観解析手法の検討 |
| P006 佐藤 浩（日本大）：SAR干渉画像によるカトマンズ周辺の地表変動の判読 | P018 大和広明（埼玉県環境科学国際センター）ほか：試作型気象観測機器の観測精度と都市気候研究への応用 |
| P007 高波神太郎（明治大・学振DC）：大分県沈降帯における過去500年間の後退速度 | P019 浜田 崇（長野県環境保全研）ほか：2018年夏季における長野市内の小学校教室内温度の空間分布の特徴 |
| P008 佐藤善輝*（産業技術総合研）・小野映介（駒澤大）：浜松市伊場遺跡群における環境変遷と伊場大溝遺構の起源 | P020 北原舜太（法政大・学）ほか：2018年新燃岳噴火以後の霧島火山周辺の水質の変化（2） |
| P009 山田周二（大阪教育大）：高解像度DEMを用いた山頂に基づく世界の山地の地形計測—山頂を定義するスケールによる山頂周辺の起伏と平均傾斜の違い | P021 乙幡正喜（法政大・学）ほか：狭山丘陵の水環境に関する水文地理学的研究（3） |
| P010 吉田一希（国土地理院）：集水域面積と縦断勾配を用いた表層地盤特性の推定 | P022 宮岡邦任*（三重大）・清水将彦（越前市役所）：転作が地下水の水位・水質に与える影響—三重県・員弁川中流域の例 |
| P011 手代木功基（摂南大）ほか：滋賀県高島市朽木の共有林に存在するトチノキ巨木の立地環境 | P023 大八木英夫（南山大）ほか：摩周湖およびその周辺の山麓湧水の滞留時間の推定 |
| P012 藤岡悠一郎（九州大）ほか：日本列島におけるトチノキ巨木の分布と成立要因（予察） | |

第1・2日目 9月21・22日（土・日）

ポスター会場

ポスター発表

ポスター発表は、9月21日（土）13時～18時までと9月22日（日）9時～15時まで、ポスター会場で行います。コアタイムは、9月21日（土）17時～18時もしくは9月22日（日）11時40分～12時10分の間に設定されていますので、多くの会員の参加を希望します。

- | | |
|---|--|
| P024 杉江あい*（名古屋大）・海津正倫（名古屋大・名誉）：バングラデシュロヒンギヤ難民キャンプ地帯における水源とその利用 | P035 永迫俊郎（鹿児島大）：沖永良部島にみられる墓正月とそこから描かれる字の特性 |
| P025 千葉晃（練馬区立石神井西中）：東日本大震災被災直後の気温と2011年3月末までの日最低気温について—岩手県・宮城県の太平洋側アメダス観測値による | P036 矢澤優理子*（千葉大・院）・古谷勝則（千葉大）：河川改修以前の荒川における堤外地集落の空間構成と住民の生業との関係 |
| P026 瀬戸真之*（福島イノベーションコースト構想推進機構）・中村洋介（福島大）：2019年山形県沖地震（M6.7）の被害調査（速報） | P037 吉村健司*・青山潤（東京大）：三陸沿岸地域における明治初期の水産物流通 |
| P027 横山俊一（防災科学技術研）ほか：防災ニーズの探求と地域防災拠点の形成について | P038 吉田裕幸（陽女学園女子中・高）ほか：地理と生物の教科横断的な学習からみる自然地理学習の課題 |
| P028 田中耕市（茨城大）：南海トラフ巨大地震を想定した救援物資輸送と住民避難 | P039 新井教之（京都教育大附属高）：サモアにおける地理教育の特色 |
| P029 一ノ瀬俊明*（国立環境研）・松村寛一郎（東京農業大）：農業と漁業の相互作用を把握するためのリモートセンシング手法開発 | P040 北村 繁（新潟大）：スマートフォンを用いた空中写真の実体視—大学の教職・一般教育科目での地形の学習における実践例 |
| P030 大槻 涼（駒澤大）ほか：駒澤大学マップアーカイブズの現状と新規受け入れ資料の概要について | P041 高山 侑（ロイヤルホールディングス）・鈴木秀和*（駒澤大）：鬼押し出園における風穴小屋の観光資源化に向けた評価分析 |
| P031 両角政彦（都留文科大）：ユリ球根の輸入規制緩和後に現れた市場構造と育成者権取得の変化 | P042 呉 咏楠（日本大・院）：新宿駅周辺地域におけるインバウンド観光の実態 |
| P032 清水和明（日本大・非常勤）：北陸地方における集落営農の展開とその地域的特徴 | P043 矢部直人*（首都大）・岡野雄気（首都大・院）：訪日外国人の地方における周遊ルートの変遷とその要因 |
| P033 岡田将誌*・肱岡靖明（国立環境研）：気候および農家労働環境からみた徳島県における果樹園分布の地域差異 | P044 福島義和*（専修大）・西 歩夢（新潟市役所）：新潟市の中心市街地再生へのエリアマネジメント政策導入の課題 |
| P034 辻 貴志（佐賀大）：フィリピン・プラカン州におけるスイギュウのミルクの生産・加工 | P045 小林 護（エイテック）：市街地における伝統的建造物群保存地区の立地特徴の分析 |